

令和3年度
北極域研究共同推進拠点事業 人材育成プログラムフィールド実習
ウィンタースクール:オホーツクの冬から学ぶ北極域の自然・人々の生活

募集要項

1. 趣旨

顕著な温暖化が進行する北極域では、温暖化やそれに伴う異常気象が生態系と人々の暮らしや社会に及ぼす影響が顕在化しつつあります。また、ライフスタイルの変化や経済・社会の変革は、都市部の急激な開発を促進する一方で、地方の人口を減少させ、地域差の拡大を招いています。北極域の温暖化によって、資源開発や北極海航路利用の可能性が高まるなか、世界の中での北極域の将来と日本の関係を考えて行くには、北極域の環境と人・社会の現状と変化を知ることは極めて重要です。

現在コロナ禍により北極圏諸国での現地実習が厳しい状況にあるなか、今年度はオホーツクでの冬季フィールド実習を実施します。本プログラムは、大学生、若手研究者、行政・企業の実務者の若手を対象として、寒冷地の自然環境、文化・社会、及び産業を学び体験するプログラムを提供すると共に、「北極域の環境と持続可能は発展」について議論する発表会を実施します。こうした活動から参加者・講師が関係を築き、お互いの持つシーズの組み合わせを新たなイノベーションに結び付けるきっかけの場となることが期待されます。

2. ウィンタースクールの概要と募集対象

(1)日程: 2022年2月14日(月)~2月18日(金)

(2)開催場所: 札幌・網走

(3)旅費: 北大規定に基づき支給します。詳細はお問い合わせください。

(4)募集人数と応募資格: 10名程度

日本の大学・研究機関に在籍する大学生と若手研究者、行政や教育関係機関および民間企業で実務を担当する若手で、北極域に関する研究やその他活動を実施あるいは今後の実施を検討している方。

*若手とは、概ね40歳未満の方を想定しています。詳細は事務局にお尋ねください。

(5)内容: オホーツク沿岸地域において寒冷地の自然環境、文化・社会、及び産業を学ぶ巡検とセミナーを実施し、最終日に参加者による発表会を実施します。

巡検予定場所: 能取湖・サロマ湖周辺での研究活動視察、オホーツク流氷観光砕氷船おーろら乗船と流氷観測、オホーツク流氷館、北方民族博物館、など。

講義: 知床財団、ロシア大学等からの講義等
日程詳細は、別紙プログラムをご覧ください。

3. 参加申込方法

(1) 応募方法: 以下 2 点を送信下さい。

1. 下記参加申込書 URL に必要事項を記入の上、送信してください。

<https://forms.gle/TbGgeJuBshynfxjj6>

2. 指導教員または所属機関から、承諾している旨のメールを別途お送り下さい。

その際はメールタイトルに「R3 年度人材育成プログラム参加承諾」、メール本文に参加申込者の名前を記入して下さい。

Email: [jarcnet_school\(at\)ml.hokudai.ac.jp](mailto:jarcnet_school@ml.hokudai.ac.jp)

(2) 申込期限: 令和 3 年 1 月 17 日(月) 必着

4. 選考および採択後の手続き

参加者の選考は、志望動機を重視し、参加希望者の研究や職務において、今後の展開や新たな発展が期待できるかどうかに着目した審査を行います。講義の一部は英語で行われますが、特段に高い英語スキルは必要ではありません。採否については、申込期限後 1 週間程度を目途にお知らせします。また新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで、「ワクチン2回接種済」または「PCR 検査陰性」を参加の条件とします。(ワクチン接種の条件を満たせない方はご自身で PCR 検査を受検して頂きますのでご了承下さい)。

5. 問い合わせ先

北極域研究共同推進拠点本部事務局(北海道大学北極域研究センター内)

〒001-0021 札幌市北区北 21 条西 11 丁目

Email: [jarcnet_school\(at\)ml.hokudai.ac.jp](mailto:jarcnet_school@ml.hokudai.ac.jp)

電話: 011-706-9074

6. 個人情報等の取り扱い

応募書類に記載いただいた個人情報は、法令等により提出を求められた場合を除き、下記の目的以外で利用することはありません。(1)本プログラムの採否にかかる審査 (2)採用された方の旅費支給関係等事務 (3)特定の個人を識別できない状態に加工した統計資料等への利用

7. その他

参加者は各自の体調を適切に把握いただき、プログラム参加の3日前より検温を実施し、体調の優れない場合は参加をご遠慮ください。また、各自マスクを着用し、館内設置の消毒液で手指の消毒をするなど、感染拡大防止対策にご協力をお願いします。緊急事態宣言の発令などに伴い、プログラムの中止や変更の場合があります。実習・課外活動に対応した保険に各自ご加入下さい。